

樹木を利用する木質バイオマス。燃烧による二酸化炭素は光合成で再固定され、排出とらない。間伐材などを加熱圧縮し粒状に固めた「ペレット」



やまき、炭、それらを燃やすストーブなどを販売する。

立命館大学院で環境政策を研究。修士論文のテーマは木質バイオマス

木質バイオマスを販売「Hibana(ヒバナ)」社長 松田直子さん(33)

京都で普及、発信を

を普及させる地域政策。修了後に環境コンサルタントの職を得て政策作り携わる一方、NPO「薪ヒキ炭ヒキくKYOTO」に参加。「実際に自分で森林資源を動かしたい」と06年5月に起業した。

京都の発信力に注目し、事務所兼店舗(075・803・6277)は上京区下立売通大宮西入ルの町家。本格的に扱うのは府内初で、京都市の普及啓発も手伝う。「もっと認知度を上げ、暮らしの中での活用をPRしたい」

【太田裕之】